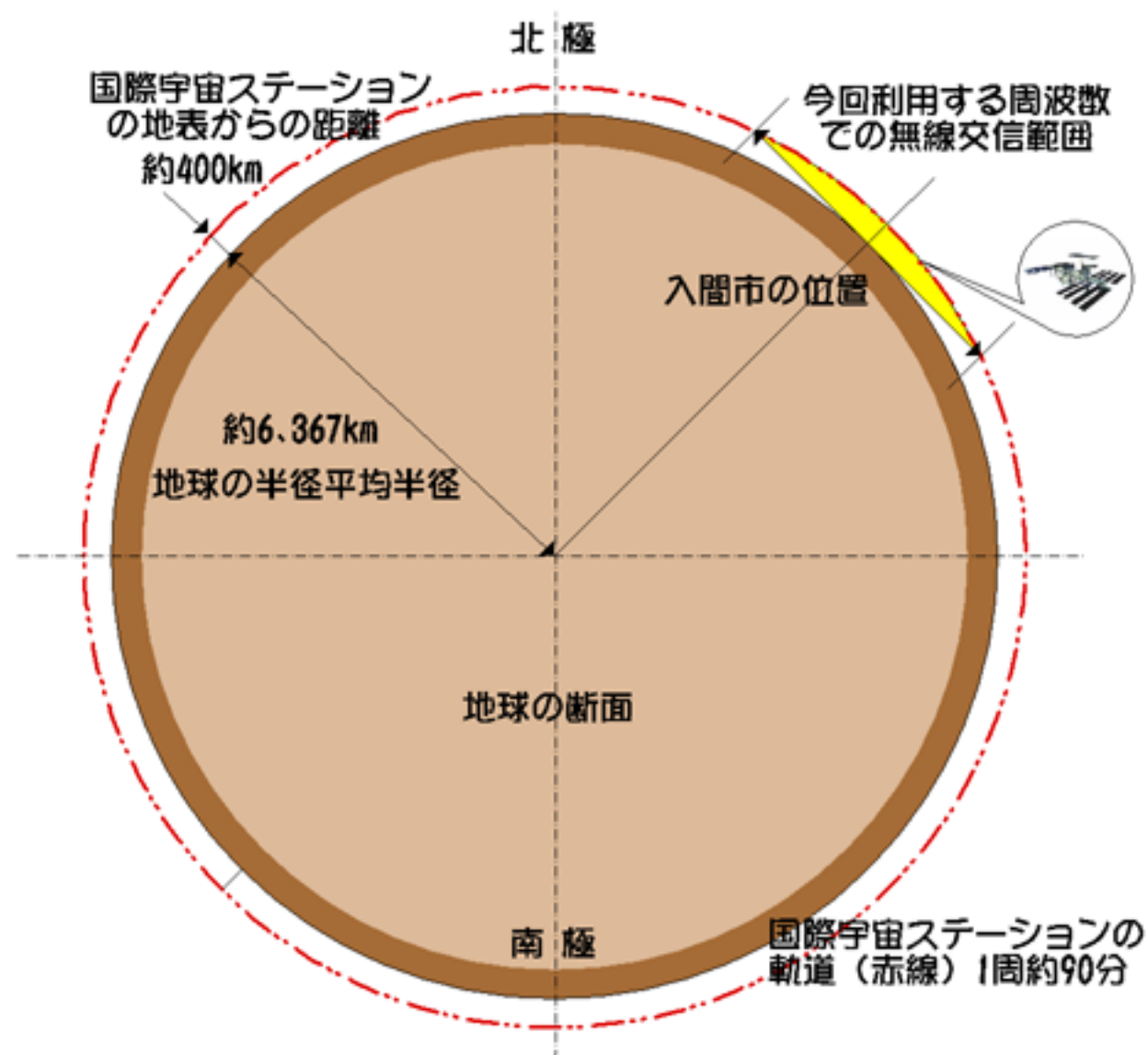


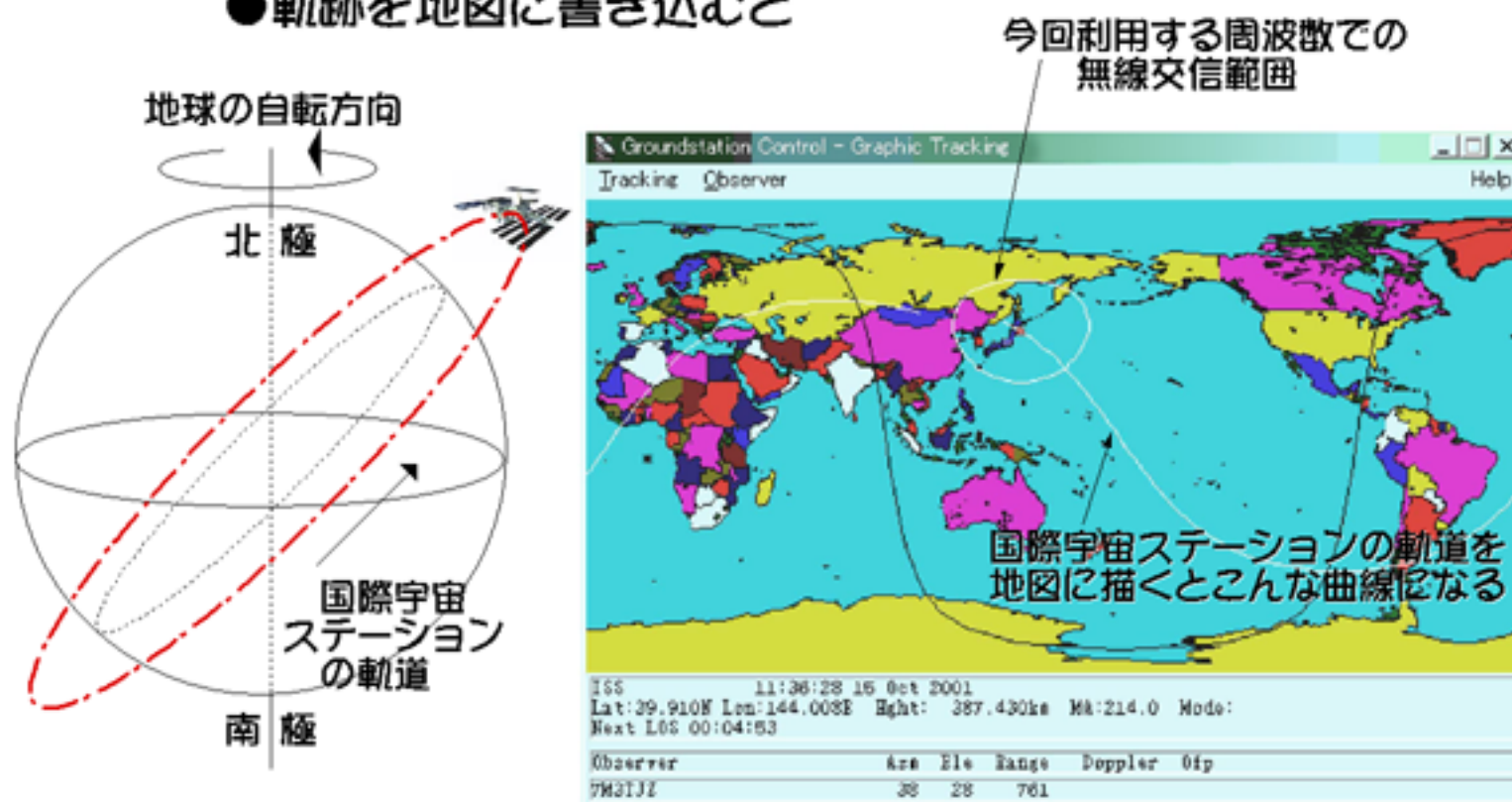
児童センター無線クラブでは国際宇宙ステーションの宇宙飛行士とアマチュア無線で交信をするアリス計画を進めています。



●なぜ短時間しか交信できないか

今回利用する電波144MHz (VHF帯)は基本的にどこまでも直進します。我々から見ると国際宇宙ステーションは、地平線を出て、上空を通過し、また地平線へと隠れて行きます。無線電波の減衰や他の電波の混信を考えなければ、この間が交信可能な時間となります。国際宇宙ステーションは約90分で地球を1周します。この関係を図で表すと上のようになりますが、交信時間が約9分から11分と短くなることが理解できます。

●軌跡を地図に書き込むと



●電波のいろいろ

電波は大きく分けると地球を上空の電離層で反射する電波 (HF帯) と電離層をつき抜ける電波 (VHF、UHF帯) があります。地球の裏側と交信するためにはHF帯、宇宙との交信するためにはVHF帯、UHF帯が利用されます。

